

来るべき地域医療・介護提供体制の 変革に対する当院の対応と展望



我が国の少子高齢化は急速に進行しており、10年後には第一次ベビーブームのいわゆる「団塊の世代」が75歳を迎える状況に至っています。そこで国は昨年6月「地域医療・介護総合確保推進法」により地域医療構想を策定し2025年を目途に自治体における病床を機能別に分け、どの地域にどのような機能の病床がどれだけ必要かなどを調査して病床を適正に配置するとともに、医療連携機能の向上により在宅復帰と在宅介護をさらに推進させる方針を打ち出しました。病床の機能は、急性期（高度急性期、一般急性期）、亜急性期、回復期、慢性期などに分類されます。急性期病床はDPC（包括医療）により管理されており、疾患毎に在院日数が決められていますので、入院患者さんは急性期が過ぎたら早めに退院するのが原則ですが、未だ体調が充分でない場合などはその受け皿としての医療療養病床に移っていただき、そこで在宅復帰を待ちます。その他身体障害のある患者さんは医療療養病床などの慢性期病床にてケアを受けることが出来るようになっていきます。

当院の増改築と病床再編について

当院では昨年度増築により主に血液疾患患者を治療するために無菌室を設置した16床の

急性期病床を新設しました。その上でDPCの在院日数要件を満たすために急性期DPC病床を74床から49床に減らすとともに医療療養病床を69床に増やし、そのうちの35床を在宅復帰機能強化加算病床としました。また増改築に際してリハビリセンターの拡張を行い、リハビリテーションスタッフも理学療法士11名、作業療法士9名、言語聴覚士2名の合計22名に増員しました。

常勤医師の増員と診療レベルの向上

従来の診療体制に加えて、昨年4月より西別府病院の統括診療部長で、呼吸器専門医兼指導医の杉崎先生と福岡大学医学部出身で腫瘍専門医の白橋先生が常勤医として加わり、さらに今年4月より久留米大学出身で呼吸器専門医の末友仁先生が常勤医として加わりましたので、今後従来の血液疾患を主体とした内科疾患全般の診療と共に、「呼吸器疾患」と「腫瘍性疾患」の診療レベルのさらなる向上が期待されます。

当院の介護提供体制の現況

昨年7月に住宅型有料老人ホーム「はやの里」（43室）とデイサービス「森のコーラス」（30

名）を開設し高齢者への介護提供を開始しました。入居者が安心して老後の人生を楽しく送れるように本院と直結した介護施設とし、医療面でもバックアップ体制をとり、幸福感と健康にとつてきわめて大切な毎日の食事については老人ホームの1階に厨房を設置し、管理栄養士と調理員を配置し入居者のニーズに合わせた手作りの料理を提供しています。今後デイサービスの機能を改善すると同時に医師、看護師やリハビリスタッフが必要に応じて訪問するシステムを作り実践したいと考えています。老人ホームの併設により本院における在院日数の短縮や入院数の増加及び在宅復帰率の向上など本院の医療提供体制にもよい影響をあたえていくでしょう。

今後の当院の役割と展望

以上当院の医療介護提供体制の最近の変化と現況について書いてみましたが、当院は今後も今まで通り一般急性期DPC病院としての診療と同時に高度急性期病院（大病院）や大分県立病院などの受け皿として重要な役割を果たすつもりです。また介護については、医療連携部門をさらに強化し、地域の医療機関及び介護福祉施設との連携を推進するとともに、老人ホームの運営を通じて高齢者介護の在り方をより深く追求し、地域に根差した医療・介護を職員全員で目指したいと思っておりますので地域の皆さまのご指導・ご支援をよろしく願致します。

（豊田）

骨粗鬆症と健康寿命

わが国では、65歳以上の高齢者が総人口の21.4%となり、3000万人を越えました。

更に後期高齢者世代の増加が著しくなっています。健康寿命とは介護を受けたり寝たきりになったりせず、制約をうけないで健康な日常生活ができる期間です。健康寿命は平均寿命より短く、日本人女性では健康をそこね自立した生活を送ることができない期間が約13年間に及びます。国立長寿医療研究センターの調査では20歳以上の一般生活者のアンケート回答者の83%が「高齢になることが不安」と回答しています。その理由の第1位は「寝たきりになるのが不安」で80%を占め、高齢・要介護となることに不安を感じているようです。要支援・要介護状態の方が670万人となっています。要介護となる要因のうち5人に1人は「骨折・転倒・関節疾患」が原因となっています。

骨粗鬆症は自覚症状に乏しく、骨折をはじめ骨粗鬆症と診断されることが少なくありません。骨折を起こすとさまざまな全身障害

をもたらすADL(日常生活動作)が制限されるばかりか、骨折の連鎖も加わって死亡のリスクも増加します。したがって、骨粗鬆症にならないための予防と骨粗鬆症になつてしまった場合は骨折を起こさないための早期治療を開始することが重要です。そのためには骨粗鬆症をできるだけ早く診断することが必要です。

女性は40歳代になると排卵が減少し、エストロゲンの分泌低下が始まります。エストロゲン欠乏により骨の「コーゲン」の異化作用が早まり、骨の副甲状腺ホルモンに対する感受性が上昇します。成長ホルモンに対する感受性が低下し、骨吸収防止作用が減弱して骨粗鬆症の発症が加速されます。閉経直後の10年間で約15%の骨量減少が観察されています。

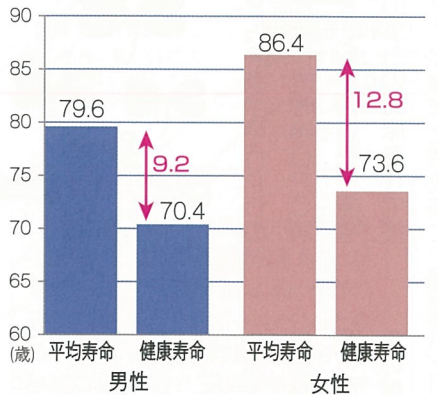
骨粗鬆症による腰椎骨粗鬆症と骨代謝マーカーの関連を研究した結果、女性ではBAP(血中骨型アルカリホスファターゼ)、PINP(血中I型プロコラーゲン・Nプロペプチド)、NTX(尿中I型コラーゲン架橋N-テロペプチド、DPPD(尿中デオキシピリジノリン)が骨粗鬆症発症の予測に有用とされています。大腿骨近位部骨折の90%は転倒

が契機となつています。40歳以上の方の転倒の実態調査では1年に1回以上転倒する人は男性の13.5%に、女性の19%にみられます。2回以上転倒する人は男性の8.2%に、女性の7.4%にみられます。また、膝痛の存在により転倒の危険性が80%上昇しますので、転倒予防には関節疾患の予防も重要です。

健康寿命を延ばすために生活習慣病と同じように骨粗鬆症も(Common disease 誰もが罹りうるありふれた病気)としての予防対策が必要です。

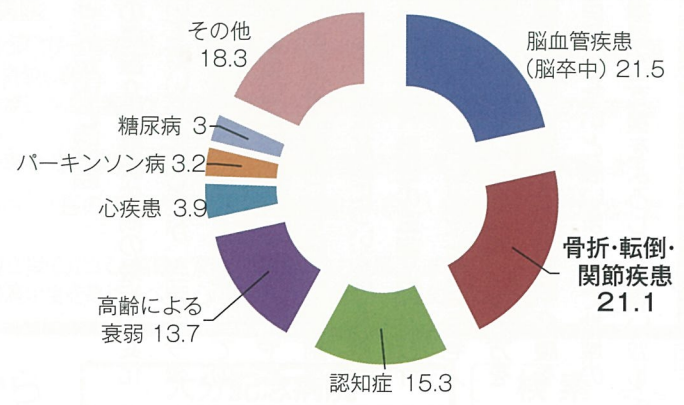
骨粗鬆症診断のために腰椎レントゲン検査、骨密度測定検査、骨代謝マーカーの検査を受けられるようにお勧めいたします。(向井)

平均寿命と健康寿命の比較(2010年)



厚生科学審議会 2012/6/1

介護が必要となる人の5人に1人は骨折・転倒・関節疾患(%)



骨粗鬆症の症状をチェックしてみましょう

- 以前より、2cm以上背が縮んできた
- 最近、姿勢が悪くなったり腰や背中が曲がったりしてきた
- 腰や背中に重い感じや痛みがある

糖尿病教室特別講演会



2月14日(土)
当院の多目的ホールで
糖尿病教室
特別講演会

「いきいき健康教室」が開催されました。今回は「糖尿病と動脈硬化」をテーマに講義が行われました。

まず豊田先生から糖尿病についての講話がありました。続いて、看護部、検査科スタッフから、糖尿病と動脈硬化についてスライドを使った講義がありました。

リハビリスタッフによる運動では、糖尿病治療、メタボリックシンドローム予防のどちらにも効果があり、自宅でも簡単にできる運動の紹介がありました。座ったままでできる予防体操でしたが、参加者の皆さんからはいい運動になったとの声が聞かれました。

栄養科は「簡単、手軽にヘルシーレシピ」をテーマに、電子レンジを使って手軽に作れる2品の実演調理を行いました。参加者の皆さんにもご協力をいただき「豚肉とレンコンのゴマ味噌煮」と「たっぷりキノコの豆乳卵蒸し」の2品を、それぞれレンジで7分程加熱して完成することが出来ました。食材は糖尿病や動脈硬化予防にもお勧めのものを使用し、誰でも簡単に作れるレシピの紹介と動脈硬化予防の食事のポイントについてのお話を

しました。参加者の皆さんからは、たくさんの質問がありました。また、バレンタインデーの開催ということで、おからを使った低カロリーのカップケーキをお土産にお配りしました。

最後は、患者さんとスタッフと一緒に野菜たっぷりの昼食を食べながら、和やかな雰囲気の中、日頃の疑問や実践していることなど情報交換を行いました。

参加者の皆さんからは、大変楽しく勉強できてよかったです。次回も参加したいなどの感想を聞くことができました。教室に参加することで、日頃感じている疑問や不安に思っていることなど患者さん同士で意見交換することができ、また先生にも気軽に質問できるような場となっていました。今後も定期的にこのような講演会を開催してゆきたいと思っておりますので、皆さんの参加をお待ちしております。

(管理栄養士 小代 裕美)



材料(2人分)

| | |
|-----------|---------|
| 鶏もも | ……80g |
| 南瓜 | ……100g |
| 玉葱 | ……100個 |
| しめじ | ……40g |
| ごはん | ……250g |
| A カレー粉 | …大さじ1 |
| 塩、こしょう | …少々 |
| (ホワイトソース) | |
| バター | ……大さじ2 |
| 小麦粉 | ……大さじ2 |
| 豆乳 | ……400ml |
| コンソメ | ……小さじ1 |
| パン粉、粉チーズ | …大さじ1 |
| ドライパセリ | …適量 |

南瓜のカレーチキンドリア

作りま専科

作り方

- ① 鶏肉を炒めて色が変わってきたら玉葱、しめじを加えて炒める。カボチャはレンジで2～3分加熱して柔らかくする。ご飯も加えて炒めたらカレー粉、塩、こしょう(A)で味付けする。
- ② ホワイトソースを作る。バターを熱して小麦粉を加えてよく練り合わせる。豆乳を少しずつ入れ混ぜ合わせてコンソメで味付けする。
- ③ グラタン皿に①を盛り、②をかけて粉チーズとパン粉をふって、オーブントースターで焦げ目がつくまで焼き、パセリをふる。



インフォメーション

新任医師紹介

4月1日より末友仁先生が呼吸器内科専門医として当院に着任いたしました。今後、幅広い分野で活躍されることを期待しています。



末友 仁 先生 にインタビュー

■今後の抱負をお聞かせください。

これまで久留米大学及び大学の関連病院で呼吸器内科医として仕事をしてきました。これから先任の杉崎先生と共に呼吸器内科の診療を少しずつ拡充していこうと思います。また同時に患者さんを総合的に診る視点を大事にして診療にあたりたいと思います。

■自己PRをお願いします。

協調性はあるほうだと思います。いままで、コメディカルの方々とチーム医療を行い円滑に仕事が行っていた様に思います。当院でも、職員の皆様と力を合わせて仕事ができればと思います。よろしくお願いたします。

新入職員の紹介

清々しい五月晴れが快い季節となりました。昨年12月から今年4月1日に入社した新入職員16名をご紹介します。どうぞよろしくお願いたします。



安部 亮佑(リハビリテーション科)
笑顔を忘れずに、理学療法士として一生懸命頑張りたいと思います。



佐藤 凜(リハビリテーション科)
知識や技術をしっかりと身につけ、頼られる存在を目指すとともに、患者中心のチーム医療に貢献したいと思います。



宮本 隆(リハビリテーション科)
初心を忘れず、日々学ぶ意識をもって一日一日を大切に過ごしたいと思います。



佐伯 盾(リハビリテーション科)
患者さんの力になれるよう、日々笑顔で過ごしたいと思います。



大野 美治子(リハビリテーション科)
早く仕事を覚えて頑張ります。



平尾 由紗(栄養科)
ひとつひとつ、丁寧に仕事を成し遂げていきます!



江村 留菜(栄養科)
初心を忘れず一生懸命頑張りたいと思います。



森田 博美(栄養科)
栄養科の一員として信頼されるよう、丁寧な仕事を心掛け、何事にも積極的にとり組んで行きます。



吉田 優希(診療情報管理室)
心のコもった明るい笑顔で頑張ります。



前川 嵩博(経営企画科)
至らぬ点もあるとは思いますが、精進するよう努めて参りますので、ご指導のほど宜しくお願いいたします。



松岡 華加(看護部)
患者の皆様に頼っていたいただける様な職員を目指します。笑顔で挨拶を忘れません。



河野 貴子(図書室)
周囲に対する思いやりの気持ちを常に持ち、ひたすら真摯に仕事に取り組んでいきたいと思っています。



工藤 美沙希(竹田クリニック 栄養科)
栄養面で患者さんをサポートできるように多くの知識を吸収して笑顔を忘れずに一杯頑張ります。



川嶋 久美子(はやの里 栄養科)
利用者の方々に喜んで頂ける美味しいお食事の提供につとめます。



後藤 規子(はやの里 栄養科)
入居者の皆様に喜んで頂ける食事作りに全力で努め、スタッフの皆さんの足手まといにならない様に頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。



河野 葵(はやの里 栄養科)
早く仕事を覚えて、おいしい食事を作れるように頑張りたいです。

編集後記

新緑の季節となりましたが、今年度もたくさんの新入職員を迎えることができました。産経新聞によると今春の新入社員を「消せるボールペン」と命名、何事にも柔軟に対応できるが、摩擦熱には弱いので、過剰な熱血指導を試みると、個々の個性が消えてしまう趣旨だそうです。ご指導する側も新入職員の皆様も、くれぐれもそのようなことにはならないようにお願いたします。

さて、今号の健康欄は「骨粗鬆症と健康寿命」について掲載しています。様々な骨、特に体幹部の骨の骨折で、寝たきり状態にならないように、常日頃からのケアが大切です。この高齢化時代、一度骨粗鬆症診断のため、検査をしてみたいか? (堀田)

がん患者さんやそのご家族、介護援助者の方々の交流会です。

一般の方もご自由にご参加ください。

リレー・フォー・ライフ 大分サロンのご案内 毎月第3日曜日 午前10:00~12:00

当院1階多目的ホールで開催しています。会費は不要です。

主催：リレー・フォー・ライフ・ジャパン大分

医療法人 大分記念病院

- 基本理念**
- 1) 私達は病院各部門が一致協力して、患者中心のチーム医療を実践することにより、患者満足度と幸福に貢献します。
 - 2) 私達は常に診療レベルと看護ケアの向上を図ると共に地域住民に安全で良質の医療を提供します。
 - 3) 私達は地域の医療・福祉機関との緊密な連携を保ちながら地域完結型医療を実践します。

- 基本方針**
- 1) 専門的医療レベルと医のアートを兼ね備えた全職員による全人的医療を患者の皆様へ提供します。
 - 2) 患者の皆様への立場に立って、信頼と安全の確保に全力を尽くします。
 - 3) 患者の皆様への満足度を高めるべく、心のコもった医療サービスに努めます。

大分記念病院ホームページはこちらから

大分記念病院

検索

